

ブログ活動のきっかけや特徴、エピソード

令和3年7月 井上雅善記

ホームページの開設のきっかけ

大学時代に卒業研究でガラスに関する研究をしていて、それが縁でミノルタカメラに入社することになりました。そして 2002 年に退社して何か趣味を持とうと考えて、ガラス関係にしようか陶芸にしようかと思いながら川西能勢口駅1階の「かわにしギャラリー」の前を通りかかた時に、陶芸教室の作品展が開催されていました。一寸会場を覗いてみたところ、釉薬はガラスに近いですし、面白そうで、何となく惹かれるところがあって、教室の案内をもらって帰りました。

数日後陶芸教室を訪れて、「教室に入れて頂けますか？」と尋ねたところ「大概の方は体験入学をしてそれから決められますが、体験されますか？」と先生から言われて、「私は体験なしで入学させていただけますか？」と答えました。先生からは「即入学を希望されたのは初めてです。どうぞお入りください。」ということで、陶芸を趣味として始めることにしました。

基本的な作陶技術を 2 年間教えていただきましたが、陶芸というものが理解できるようになり、化学出身の私にはうってつけの趣味であることを実感し、もっと深く知りたくなって、教室だけでは物足りなくて、日本の六古窯を回り資料を集め、窯元で色々質問して、作品の陶芸技法や知識を学びました。そして週に二回、6 時間の教室だけでは物足りなくなり、2006 年に自宅に工房らしきものを作り、自宅での創作活動を始めました。そして、近くの市展（公募展）に応募することで技術の向上を図りました。

その活動をホームページで紹介することにして、ホームページを開設しました。

ところが、陶芸に熱中するあまりに腰痛を起し、その対策として散歩をすることにしました。その効果は直ぐあらわれて、継続するためには楽しみをということで、花の写真を撮ることにし、ブログを開設しました。

陶芸に関するエピソード

(1) 窯元でのエピソードその1

唐津の隆太窯さんで「牛ベラ（牛の舌のような幅の広い長いへら）」の使い方を教えていただきました。このへらは砂気の多い粘り気の少ない粘土のろくろ成形に威力を発揮するへらですが、通っている教室では使い方を知っている方がいなくて、唐津焼ではろくろ成形の際の必須のへらということで、唐津に出向き事前の予約もなく訪れたところ、私の目の前でそのへらを使って飯茶碗のろくろ成形を見せて頂きました。その際の写真と動画も OK ということで持ち帰り練習をして使いこなせるようになり、現在も大変重宝しています。また、これを機会に情報交換をさせて頂き、現在もお付き合いを察せてもらっています。

(2) 窯元でのエピソードその2

福岡県の小石原焼、大分県の小鹿田焼き（おんたやき）でも同じような経験をしました。特徴的な「飛び鉋」の技法を知りたくて、窯元さんに飛び込み飛び鉋の材料と作り方、使い方を丁寧に教えていただき、現在もその技法を作品に使って装飾しています。

(3) 窯元でのエピソードその3

長崎県の波佐美焼きの里の治甫窯さんでは私の現在の独特の技法である「練り込み鑄（しのぎ）作品」の原点の「練り込みろくろ成形」の技法を教えてくださいました。治甫窯さんは「練り込み象嵌」の技法でその当時から全国的な陶芸展に作品を出展されていきました。当時はこの「練り込みろくろ成形」の作品を作られている陶芸家さんは北海道の尾形香三夫さんと治甫窯さんが有名でした。その一人の方に基本的な技術を丁寧に教えていただけました。今も時々メールの交換をさせて頂いており、私を覚えていて下さいます。

現在では Google で「練り込み鑄作品」で検索すると私の作品も「gazengama」の名で沢山の作品を掲載されるようになりました。

それで、私もそれらの作品の制作工程をブログに紹介しています。

このように、窯元さんは皆さん何代も技術を受け継いで伝統的な作品作りをされていますが、その技術を惜しげもなく素人の私たちに丁寧に教えてくださいます。そのおかげで全国的な「全陶展」での会員になれました。

陶芸作品一例



花に関するエピソード

(1) 私の好きな花にニリンソウがあります。

ニリンソウ（二輪草）の花言葉は「友情」「ずっと離れない」「協力」です。多田から鼓滝の間の矢間というところに二輪草の密生地があり、毎年3月後半から4月前半にきれいに咲きますので、それを見るのを楽しみに何度か通います。白い清楚な可愛い花です。

川中美幸さんの二輪草の歌（作詞 水木かおる 作曲 弦哲也）

あなた おまえ 呼んで呼ばれて寄り添って 優しく私をいたわって好
きで一緒になった仲 喧嘩したって背中あわせのぬくもりが
かようふたりは ふたりは二輪草
ほうらごらん 少しおくれて咲く花を いとしく思ってくれますか咲
いて清らかな白い花 生きてゆくのに 下手なふたりがささやかな夢を
かさねる ふたりは二輪草

二輪草



(2) 野草（雑草）の勢力争い

猪名川には今の時期には土手や河川敷にクサフジが咲き、一面紫色に変化します。しかし、詰草との勢力争いが繰り返されています。今年は河川敷の大きな木が除去されてしまい、小鳥が急激に少なくなり、何年か前には翡翠と必ず出会える場所がありましたが、最近全く出合えません。そして、今年はクサフジがかなり勢力を拡大しています。タネの拡散と小鳥とは何か関係がありそうですね。

それから最明寺川ではオオキンケイギクが毎年少しずつ下流の方に移動しています。平井が最も繁茂していましたが現在は南花屋敷の方にずれてきました。そして、最近オオキンケイギクの対向植物が現れてきました。白いレースフラワーです。オオキンケイギクの繁茂しているところに割り込んで2, 3年前までは黄色一色でしたが、今は一部黄色と白が入り混じってきました。土手の上の方にレースフラワーを少しだけ植えられた方が予想もしなかったすごい繁殖力驚いておられました。今後どうなるか楽しみです。

(3) 花は人の心を和らげて笑顔にしてくれます。

私はどちらかといえば無口な方で、人見知りしがちでしたが、花の写真を取り出してからは、その花を介して見知らぬ方にも話しかけられるようになりました。

花は畑か玄関前の花壇で栽培されていますので、その近くへ寄ろうとすると無断で畑や庭に入り込まざるを得ません。できるだけ無断で入り込むことは避けていますが、家の方を見かけると「花が綺麗に咲きましたね」「この花の名前は何かと言いますか?」「この花の写真を撮らせてください」このような言葉をかけると、大抵の方は笑顔になられて会話がはずみます。

植木屋さんの畑の植木の花の写真をきっかけに、大きな獅子柚子の実やカリンの実を頂きました。その後もお会いするたびに話しています。

花の写真を無断で撮って叱られたのは 7 年間で二人でした。最近では逆に花の名前を聞かれるようになりました。そして、最近 Google で花の名前や花言葉を検索しているとなんと私のブログ (gazengama) が検索されるようになりました。

◆ホームページ ; 2010-05-05 開始 陶芸

2016-09-29 終了

ブログ (Nifty) : 2014-01 開始 散歩の日記

2016-09 終了

ブログ (Yahoo) : 2016-09-12 開始 散歩の日記 (花の写真)

2019-04-19 終了

ブログ (Rakuten) 2019-04-18 開始 散歩の花の写真と陶芸作品と作品展
の写真

◆2021年夏・秋の展示会出展予定

- ① 8月18日から 個展 (川西市のギャラリー・シャノワール)
(別途、詳細をご案内しています)
- ② 9月22日~9月28日 池田市美術協会会員展 (池田市中央公民館)
- ③ 10月16日~10月22日 全陶展 (東京都美術館)